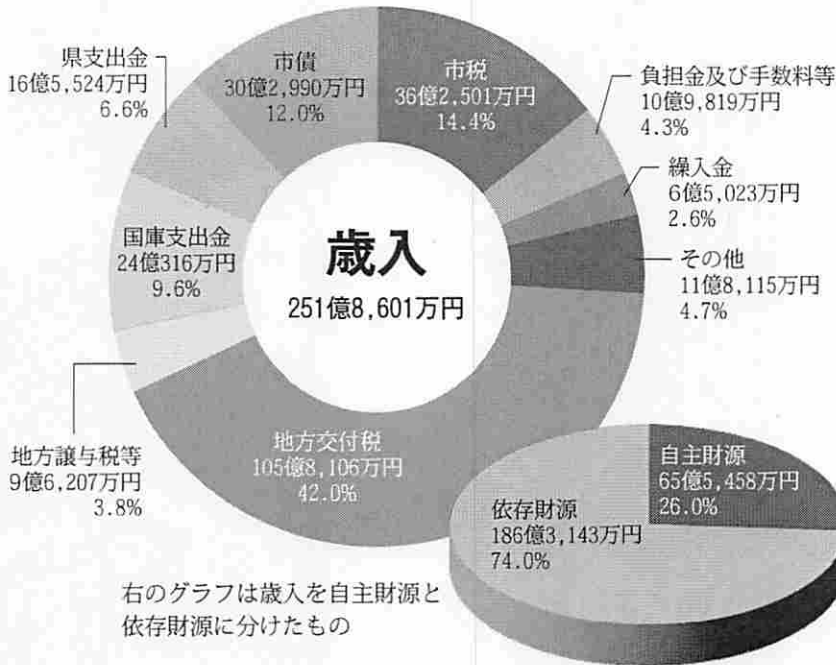


平成27年度

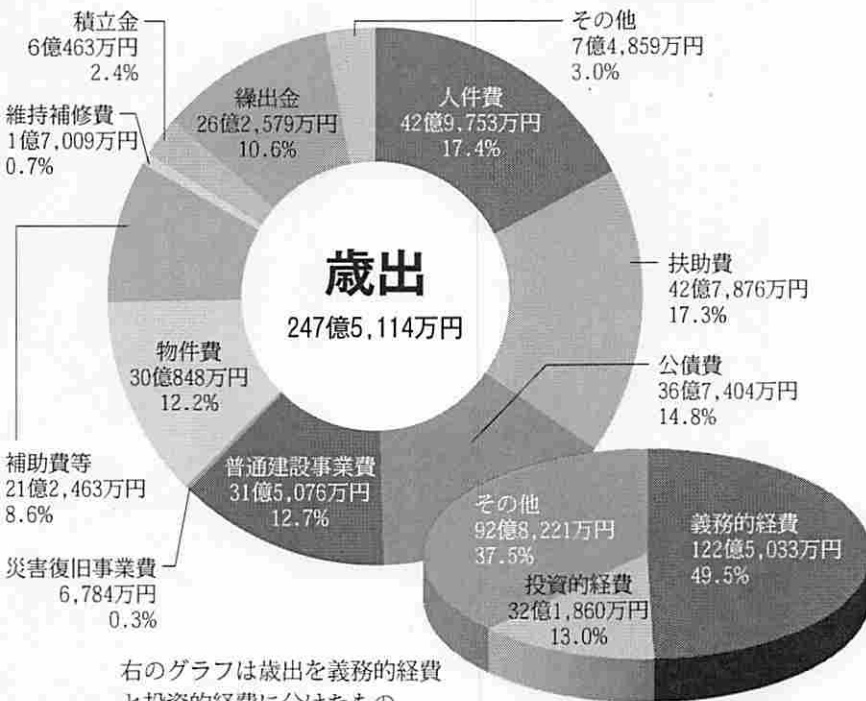
決算報告

■一般・特別会計の概要

一般会計 歳入・歳出グラフ



右のグラフは歳入を自主財源と依存財源に分けたもの



右のグラフは歳出を義務的経費と投資的経費に分けたもの

詳細は大田市のホームページをご覧ください。

財政状況、財政健全化判断比率の詳細は、市のホームページでも公開しています。

財政局課 (☎0854-83-8017)

財政方針 健全化 検索

歳入

予算現額256億9678万円に対して調定額256億3057万円、収入済額は251億8601万円。債権放棄である不納欠損額は2580万円、収入未済額は4億1876万円の決算となっており、収入率は予算比98・0%、

歳出

支出済額は247億5114万円、執行率は、96・3%となり、翌年度に繰り越した3億9040万円を差し引いた不用額は5億5524万円です。

調定比98・3%となっています。

特別会計

10ある特別会計の歳入総額は140億2122万円、歳出総額139億5992万円。これらを差し引いた形式収支額は、6130万円。翌年度に繰り越す2130万円を除く、実質収支額は4000万円の黒字となりました。

市債残高

一般会計における当年度末の市債残高は、前年度末より2億8554万円減少。特別会計分を合わせた市債残高は、前年度末より1億171万円増加し、413億8308万円となりました。

決算の状況

(単位：万円)

		歳入	歳出	差し引き	市債残高	基金残高	
一般会計		251億8,601	247億5,114	4億3,487	332億5,487	81億8,901	
特別会計	国民健康保険事業	53億1,340	52億7,456	3,884	0	3億6,434	
	国民健康保険診療所事業	1,440	1,440	0	6,550	1,239	
	後期高齢者医療事業	10億2,902	10億2,162	740	0	0	
	介護保険事業	52億8,432	52億3,498	4,934	0	1億3,049	
	住宅新築資金等貸付事業	129	5,687	△5,558	0	0	
	生活排水処理事業	1億6,463	1億6,463	0	3億7,475	4,825	
	簡易給水施設事業	5億9,893	5億9,893	0	9億2,466	222	
	農業集落排水事業	7,025	7,025	0	4億8,886	0	
	大田市駅周辺土地区画整理事業	8,246	8,246	0	4億662	0	
	下水道事業	14億6,252	14億4,122	2,130	58億6,782	2億6,991	
特別会計合計		140億2,122	139億5,992	6,130	81億2,821	8億2,760	
企業会計	病院事業	収益的収支	40億33	44億6,183	△4億6,150	30億6,814	3億6,332
		資本的収支	6億2,375	7億4,419	△1億2,044		
	水道事業	収益的収支	9億2,495	8億8,590	3,905	60億33	3,320
		資本的収支	3億968	7億3,867	△4億2,899		

健全化判断比率 — 指標すべてが健全化基準を下回っています

平成19年6月、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。地方公共団体は、4つの指標である「健全化判断比率」、公営企業の経営の健全化を判断する指標である「資金不足比率」を公表することが義務付けられました。

各比率は次のとおりで、監査委員の審査を受け、9月市議会に報告したところです。

○早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準を超えると…

それぞれに対応した計画を作成し総務大臣などに報告、自主的または国・県の関与のもとに財政健全化を行うことになります。

■実質赤字比率

普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模^{※1}に対する比率で、普通会計の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…12.83%
財政再生基準…20.00%

大田市 —%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

■実質公債費比率

普通会計が負担する元利償還金及び標準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、市の借金の返済額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…25.00%
財政再生基準…35.00%

大田市 13.9%

■将来負担比率

普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、市が将来支払っていく負担額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…350.00%

大田市 91.2%

■連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率で、市全体の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…17.83%
財政再生基準…30.00%

大田市 —%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

■資金不足比率

公営企業における資金不足額の事業の規模に対する比率で、事業規模である料金収入に対する資金不足の程度を示しています。

経営健全化基準…20.00%

大田市 —%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

すべての指標で、早期健全化（経営健全化）基準内であり、財政状況は「健全」と言えます。しかし「指標が基準内にあること」＝「市の財政が豊か」というわけではありません。今後、各指標を参考に、健全な財政運営に努めていきます。

※1 地方公共団体の標準的な状態で通常収入があるであろう經常的一般財源の規模を示すものです。

※2 赤字、資金の不足が生じておらず、比率が算定されないため、「—」表示となります。